

2023年度事業報告書

公益財団法人 日中友好会館

目次

〔Ⅰ〕 公益目的事業		
(公1) 青少年交流・教育交流事業	：総合交流部	3
(公2) 寄宿舎施設の運営	：留学生事業部	11
(公3) 中国語及び日本語教育	：日中学院	16
(公4) 文化事業	：文化事業部	18
(公5) 植林・植樹事業	：総合交流部	22
〔Ⅱ〕 収益事業		29
〔Ⅲ〕 その他の事業	会員相互友好事業：日中友好後楽会	32
〔Ⅳ〕 法人の状況		33

② 「JENESYS2023」 香港・澳門高校生訪日団

事前オリエンテーション／ 招聘期間	招聘 人数	団員構成・地域・テーマ	訪問先	担当機関
11月25日／ 12月10日 ～12月16日	80 (香港50 澳門30)	香港・澳門高校生 テーマ：文化	東京、京都、 滋賀、奈良 大阪	香港特別行政区政 府教育局、澳門特 別行政区政府教育 及青年發展局

③ 「JENESYS」 アジア国際子ども映画祭 2023 参加訪日団

事前オリエンテーション／ 招聘期間	招聘 人数	団員構成・地域・テーマ	訪問先	担当機関
12月4日／ 12月12日 ～12月18日	10	中国高校生（北京市） 第16回アジア国際子ども映画 祭参加	兵庫、大阪	中国教育部

※JENESYS2022（Phase II）で実施

イ 中国大学生招聘事業 2件 60名

① 「JENESYS2023」 北京電影学院学生代表団 ※（公社）青年海外協力協会に委託

事前オリエンテーション／ 招聘期間	招聘 人数	団員構成・地域・テーマ	訪問先	担当機関
10月18日／ 10月23日 ～10月29日	30	北京電影学院に所属する大学 生・大学院生（北京市） 『映画』	東京、栃木	北京電影学院 (派遣協力： 在中国日本国大使 館)

② 「JENESYS2023」 中国大学生訪日団

事前オリエンテーション／ 招聘期間	招聘 人数	団員構成・地域・テーマ	訪問先	担当機関
2024年 2月28日／ 3月3日 ～3月9日	30	北京市、上海市、山東省の大学 生・大学院生 『持続可能な社会』	東京、愛知、 千葉	中国日本友好協会

ウ 中国青年招聘事業 9件 309名

① 「JENESYS2023」 2023年日中障害者福祉青年交流代表団

事前オリエンテーション／ 招聘期間	招聘 人数	団員構成・地域・テーマ	訪問先	担当機関
7月27日／ 8月1日 ～8月5日	30	中国障害者連合会及び関連機関 に所属する青年（北京市・河北 省・福建省・山東省青島市） 『障害者がより一層活躍できる 共生社会の実現を目指して』	東京、滋賀、 埼玉	中国障害者連合会 （派遣協力： 在中国日本国大使館）

② 「JENESYS2023」 中国農村青年幹部代表団

事前オリエンテーション／ 招聘期間	招聘 人数	団員構成・地域・テーマ	訪問先	担当機関
8月24日／ 8月29日 ～9月2日	30	農村青年幹部（大学生村官） （北京市、山西省） 『観光による過疎地域の活性化』	東京、長野	中国日本友好協会

③ 「JENESYS2023」 2023年中国法曹関係者代表団（1）

事前オリエンテーション／ 招聘期間	招聘 人数	団員構成・地域・テーマ	訪問先	担当機関
9月20日／ 9月24日 ～9月30日	15	若手弁護士（北京市・浙江省・ 広東省・上海市） 『これからの日中協力と法律家 の役割』	東京、京都、 和歌山	北京市安理律師事 務所（派遣協力： 在中国日本国大使館）

④ 「JENESYS2023」 2023年中国法曹関係者代表団（2）※イオンコンパス（株）に委託

事前オリエンテーション／ 招聘期間	招聘 人数	団員構成・地域・テーマ	訪問先	担当機関
11月8日／ 11月12日 ～11月18日	20	若手弁護士（北京市・陝西省・ 四川省・浙江省・上海市・湖南 省・広東省・福建省） 『法曹が新時代に果たす役割』	東京、愛知	北京市康達律師事 務所 （派遣協力： 在中国日本国大使館）

⑤ 「JENESYS2023」 中国青年公益事業交流団 第1陣

事前オリエンテーション／ 招聘期間	招聘 人数	団員構成・地域・テーマ	訪問先	担当機関
10月13日／ 10月22日 ～10月28日	95	政府機関や企業で公益事業・ボ ランティアに従事する青年等 (北京市他) 『農村発展』、『幼児教育』、 『ボランティア活動』	東京、群馬、 栃木、熊本	中国宋慶齡基金会

⑥ 「JENESYS2023」 中国青年公益事業交流団第2陣 ※イオンコンパス(株)に委託

事前オリエンテーション／ 招聘期間	招聘 人数	団員構成・地域・テーマ	訪問先	担当機関
2024年 1月17日／ 1月21日 ～1月27日	72	政府機関や企業・大学で公益事 業・ボランティアに従事する青 年・学生等 『科学技術』、『環境保護』、『文 化芸術』	東京、千葉、 栃木、埼玉、 熊本、徳島、 兵庫	中国宋慶齡基金会

⑦ 「JENESYS2023」 第二十五回中国教育関係者代表団

事前オリエンテーション／ 招聘期間	招聘 人数	団員構成・地域・テーマ	訪問先	担当機関
11月9日／ 11月14日 ～11月18日	30	小・中・高等学校の教員並びに 教育関係者(北京市) 『新しい学びと授業革新』	東京、愛知	中国日本友好協会

⑧ 「JENESYS」 中国社会科学院青年研究者代表団

事前オリエンテーション／ 招聘期間	招聘 人数	団員構成・地域・テーマ	訪問先	担当機関
2024年 1月10日／ 1月14日 ～1月20日	10	中国社会科学院に所属する若手 研究者 『日本のコミュニティ・ガバナ ンスにおける経験と啓発』	東京、福岡、 佐賀	中国社会科学院

※JENESYS2022 (Phase II) で実施

⑨ 「JENESYS2023」 日中青年メディア交流代表団 ※イオンコンパス（株）に委託

事前刈エンテーション ／招聘期間	招聘 人数	団員構成・地域・テーマ	訪問先	担当機関
2024年 3月6日／ 3月11日 ～3月17日	7	青年メディア関係者 『日中関係におけるメディアの 役割』	東京、千葉、 神奈川、徳島	派遣協力： 在中国日本国大使館

(2) 派遣事業 2件 合計派遣人数 59名

① 「JENESYS2023」 日本大学生訪中団

事前刈エンテーション ／派遣期間	派遣 人数	団員構成・地域・テーマ	訪問先	担当機関
9月14日、 11月16日／ 11月26日 ～12月2日	49	団長1名 団員（大学生・大学院生）44名 事務局4名 『中国とのふれあい』	北京市、 山東省、 上海市	中国日本友好協会

② 「JENESYS2023」 日本青年研究者訪中団

事前刈エンテーション ／派遣期間	派遣 人数	団員構成・地域・テーマ	訪問先	担当機関
2024年 3月1日／ 3月10日 ～3月16日	10	団長1名、団員（若手研究者） 7名、事務局2名 『ヘルスケア産業における日中 協力』	北京市、 山東省	中国社会科学院

(3) オンライン交流事業 2件 合計参加人数 118名（中国側 60名、日本側 58名）

① 「JENESYS2022」 日本・澳門高校生オンライン交流

実施日	参加人数		参加者・交流先の構成、テーマ、内容	協力機関
	中国側	日本側		
5月20日	40	39	澳門高校生／ 札幌日本大学高等学校の高校生	澳門特別行政区政府教育 及青年發展局

※JENESYS2022（Phase II）で実施

② 「JENESYS2022」 日中青年オンライン交流（伝統音楽）

実施日	参加人数		参加者の構成、テーマ	担当機関
	中国側	日本側		
5月24日	20	19	中央民族大学の大学生・大学院生／ 日本の伝統音楽を学ぶ日本大学生・大学院生 『伝統音楽』	中国宋慶齡基金会

※JENESYS2022（Phase II）で実施

（４）フォローアップ事業 4件 合計参加人数 135名（中国側 98名、日本側 37名）
合宿交流1件とオンライン交流を3件実施した。

① 「JENESYS2023」 日本大学生訪中団フォローアップ（合宿交流）

実施日	参加人数		参加者・交流先の構成、テーマ	協力機関
	中国側	日本側		
2024年 3月7日 ～3月8日	27	27	日本大学生訪中団団員／ 中国大学生訪日団団員 『社会課題克服』	中国日本友好協会

② 「JENESYS2023」 中国青年公益事業交流団オンライン再訪プログラム

実施日	参加人数		参加者・交流先の構成・テーマ	協力機関
	中国側	日本側		
6月20日	18	5	「JENESYS2018」中国青年公益事業交流団の団員等／ 訪日時の受入れ先関係者（奈良県国際課、川上村教育委員会、吉野川紀の川源流物語） 『環境・自然を生かした地域の取り組み』	中国宋慶齡基金会

③ 「JENESYS2023」 2023年日中障害者福祉青年交流代表団フォローアップ オンラインセミナー

実施日	参加人数		参加者・交流先の構成・テーマ	協力機関
	中国側	日本側		
2024年 3月13日	28	1	2023年日中障害者福祉青年交流代表団団員等／ （一社）障害攻略課、（一社）mogmog engine 『障害者福祉』	中国障害者連合会

④ 「JENESYS2023」 中国農村青年幹部代表団フォローアップ オンライントークセッション

実施日	参加人数		参加者・交流先の構成・テーマ	協力機関
	中国側	日本側		
2024年 3月22日	25	4	中国農村青年幹部代表団団員等／ 訪日時の受入れ先関係者（信州いいやま観光局、なべくら高原・森の家、小布施文化観光協会） 『観光による過疎地域の活性化』	中国日本友好協会

2. 対日理解促進交流プログラム「JENESYS2022 (Phase II)」 「JENESYS2023」
(対象国：モンゴル)

(株) JTB に委託し、招聘事業 3 件、フォローアップ事業 3 件を実施した。明細は下記のとおり。

(1) 招聘事業

① 「JENESYS2022 (Phase II)」 モンゴル訪日団

招聘期間	招聘人数	団員構成・テーマ	訪問先
12月6日～13日	27	高校生・大学生・若手社会人 『ものづくり』	東京、茨城、新潟

② 「JENESYS2023」 第16回アジア国際子ども映画祭

招聘期間	招聘人数	団員構成・テーマ	訪問先
12月13日～20日	10	高校生 第16回アジア国際子ども映画祭参加	大阪、兵庫、徳島

③ 「JENESYS2023」 モンゴル訪日団

招聘期間	招聘人数	団員構成・テーマ	訪問先
2024年 3月4日～11日	102	高校生・大学生・若手社会人 『スポーツ』『日本文化』『科学技術』	東京、大分、 群馬、新潟

(2) 「JENESYS2023」フォローアップ事業

実施日	参加人数	参加者構成・内容・テーマ
2024年1月27日	47	2017年度・2018年度の被招聘者 オンラインセミナー『日本のおもてなし』
2024年2月24日	22	2022年度・2023年度の被招聘者 モンゴル現地での同窓会： 代表者による JENESYS 参加後の関連活動に関する発表、 セミナー『日本で働くモンゴル人の活動』等
2024年3月23日	74	2017年度・2018年度・2022年度・2023年度の被招聘者 モンゴル現地での同窓会： 日本の海外事業組織の紹介、交流会等

(公2) 寄宿舍施設の運営 : 留学生事業部

中国留学生・研究員の受入事業用施設として「後楽寮」及び「後楽寮研修棟」がある。「後楽寮」には203室(1階～3階)、「後楽寮研修棟」には18室(後楽ガーデンホテル3階)がある。

1. 後楽寮入退寮状況

(1) 資格区分別入退寮者数

	2023年4月1日 時点の在寮生数	2023年度		2024年3月31日 現在の在寮生数
		入寮生数	退寮生数	
国家公派	134	69	89	114
単位公派	3	3	6	0
自費学生	10	4	4	10
華僑学生	1	0	0	1
合計	148	76	99	125

* 国家公派とは中国教育部の派遣留学生・研究員

* 単位公派とは地方政府機関、大学、研究所の派遣留学生・研究員

* 自費学生は大学院正規課程生(修士課程・博士課程)

(2) 男女別入退寮者数

	2023年4月1日 時点の在寮生数	2023年度		2024年3月31日 現在の在寮生数
		入寮生数	退寮生数	
男子	84	36	54	66
女子	64	40	45	59
合計	148	76	99	125

2. 後楽寮研修棟入退寮状況

(1) 資格区分別入退寮者数

	2023年4月1日 時点の在寮生数	2023年度		2024年3月31日 現在の在寮生数
		入寮生数	退寮生数	
国家公派	8	6	11	3
単位公派	1	6	5	2
合計	9	12	16	5

* 国家公派とは中国教育部の派遣留学生・研究員

* 単位公派とは地方政府機関、大学、研究所の派遣留学生・研究員

(2) 男女別入退寮者数

	2023年4月1日 時点の在寮生数	2023年度		2024年3月31日 現在の在寮生数
		入寮生数	退寮生数	
男子	5	4	7	2
女子	4	8	9	3
合計	9	12	16	5

3. 開館以来の入退寮状況

「後楽寮」は1985年4月に、また「後楽寮研修棟」は1988年4月に開設された。それぞれ38年および35年が経過したが、その間の入退寮者の総数は下記表の通り。

(2024年3月末現在)

	入寮数	退寮数
後 楽 寮	4,410	4,286
後楽寮研修棟	1,116	1,111
合 計 (人)	5,526	5,397

4. 後楽寮修繕・改修工事

(1) 主な修繕・改修工事

「設備投資計画書の区分番号 工事項目／実施時期 工事金額（税抜）」

- 5-③ B1階厨房ガス給湯器修理／4月 30千円
- 5-② エコキュート貯湯槽内部清掃／7月 222千円
- 5-③ メカニカルタンキー機器交換／8月 180千円
- 7-② B1階受水槽他更新工事／8月 22,000千円
- 5-①-1 排水管高圧洗浄／9月 422千円
- 5-③-5 トイレタンク管修理／9月 33千円
- 5-③-6 厨房機器修理（ガス機器を除く）／10月 48千円
- 5-③-7 シャワーハンドル修理／10月 40千円
- 5-③-8 エコキュート修理／12月 146千円
- 5-③-9 1～3階東側給湯室・小便器用衛生配管更新工事／12月 7,400千円
- 5-③-10 電話交換機電源ユニット交換作業／1月 48千円
- 5-③-11 エコキュートポンプ修理／1月 40千円

(2) 寮内環境改善工事他

- ・後楽寮 3 階西側ラウンジ窓ガラス交換工事 (3 月)
- ・後楽寮 1～3 階西側給湯室水栓交換工事 (4 月)
- ・後楽寮一部居室椅子交換 (4 月)
- ・後楽寮居室デスクライト交換 (4 月)
- ・ソフトバンク電波機器交換工事 (6 月)
- ・4 階理事室配管更新工事 (6 月)
- ・後楽寮居室ドア修理 (7 月)
- ・後楽寮ダムウェーター室バッテリー交換 (7 月)
- ・後楽寮シャワー室タイル交換工事 (7 月)
- ・後楽寮受水槽更新工事 (8 月)
- ・後楽寮研修棟加圧給水ポンプ交換 (9 月)
- ・後楽寮研修棟高圧洗浄 (9 月)
- ・後楽寮 AED パット交換 (10 月)
- ・後楽寮高圧洗浄 (10 月)
- ・後楽寮洗濯機全 12 台更新 (10 月)
- ・別館内線の電話交換機不具合調査、交換 (1～2 月)

(3) 定期点検

- ・後楽寮研修棟建築物設備定期検査
- ・後楽寮・後楽寮研修棟消防設備点検
- ・受付前自動ドア定期点検
- ・後楽寮 B1 ダムウェーター点検
- ・後楽寮電気設備年次点検
- ・ねずみ・害虫等の生息状況確認
- ・空調自動制御保守点検

(4) 定期清掃

- ・後楽寮居室シーツ交換
- ・後楽寮給湯室・トイレ・シャワー室等共用部清掃
- ・後楽寮 B1 厨房排気ダクト清掃
- ・後楽寮居室及び研修棟フィルター交換
- ・窓ガラス清掃
- ・後楽寮内、食堂ワックス清掃
- ・後楽寮 B1 厨房グリストラップ、汚水・雑排水槽清掃
- ・後楽寮 B1 厨房グリスフィルター清掃

- ・殺虫殺鼠消毒作業（共用部、居室、厨房）
- ・便座クリーナー補充作業
- ・非常放送ボックス・消火栓ボックス清掃
- ・共用部照明器具清掃アネモスタット清掃

5. 活動実績

(1) 寮内行事

後楽寮の2大祝賀会“国慶節”“春節”は寮生委員会主催による行事で、3年にわたりコロナ禍により中止を余儀なくされてきた。2023年度の国慶節祝賀会も参加者を限定しての開催となったが、春節祝賀会はコロナ禍も過ぎたことから、来賓を迎え盛大に挙行することができた。

<主な行事>

- 6月23日 新入寮生懇親会
- 7月14日 第38回岸本奨学金授与式
- 9月24日 国慶節祝賀会
- 9月29日 中秋節行事（寮生への月餅配布）
- 10月29日 聶耳記念碑参観バスツアー
- 2024年
- 1月21日 後楽寮春節祝賀会開催
- 2月9日 春節前夜餃子宴（寮生への餃子等提供）

(2) 寮外行事

コロナ禍が明けたことにより、2023年度は外部の団体主催の多くの行事に寮生が参加した。内容も懇親会、新年会、体験学習、お花見クルーズ等、多岐にわたり、日々忙しい留学生生活を過ごす寮生に貴重な体験となった。

<主な行事>

- 6月3日 北区日中友好協会 日中友好促進懇談会
- 8月1日 北区平和祈念週間 納涼盆踊り大会
- 10月18日 中国留学生友の会バス旅行
- 11月23日 文京区との交流事業「中国伝統芸能セミナー ～伝統から現代へ～」
- 11月30日 藤沢市視察体験学習
- 2024年
- 1月13日 東京華僑総会新年会
- 2月25日 北区日中友好協会新年会

- 3月16日 文京区都市交流フェスタへの出展
- 3月30日 千代田区日中友好協会 お花見クルーズ

(3) その他

- ・後楽寮食堂の調理師が来日。

派遣機関：中国外交部

着任日：10月10日（火）

- ・後楽寮食堂営業再開

コロナ禍により2022年3月末で営業を終了していた食堂が再開した。調理師が1名のため、現状では原則として下記の要領で営業を実施中。

営業開始：11月1日（水）

営業日：水・木・金・土・日

定休日：月・火・祝日

営業回数：1日2回（昼・夜）

価格：1食800円

※キャンペーンやメニューの内容によって1食500円の回あり。

- ・後楽寮研修棟2階の一般客室化

後楽寮研修棟として利用してきた後楽ガーデンホテル2階部分（シングル16室、ツイン2室計18室）の一般客室化を実施。2023年12月から一般客室としての運用を開始。後楽寮研修棟は3階18室で運用を継続中。

(公3) 中国語及び日本語教育 : 日中学院

1. 活動状況

入学式 (4月5日)
 本科 (2年、研究科) ・日本語科合同都内見学 (4月28日)
 本科 ・日本語科合同合宿 (6月1、2日)
 本科 (1年) ・日本語科 (1年) 合同朗読大会 (7月5日)
 本科 (1年) ・日本語科合同防災館見学 (9月8日)
 文化祭 (10月28日)
 本科 ・日本語科合同スピーチ大会 (2024年2月7日)
 卒業式 (2024年3月15日)
 学院報 555～558号 (3ヶ月毎の季刊号)

2. 学科状況

在籍者数

	定員	2023年度	2022年度	2021年度
本科 1年	40 (2)	6 (1)	6 (1)	11 (1)
本科 2年	40 (2)	7 (1)	8 (1)	9 (1)
本科 研究科	20 (1)	3 (1)	2 (1)	2 (1)
日本語科 1年	40 (2)	7 (1)	12 (1)	0 (-)
日本語科 2年	40 (2)	6 (1)	0 (-)	0 (-)
日本語科 10月生1年	20 (1)	0 (-)	6 (1)	0 (-)
日本語科 10月生2年	20 (1)	4 (1)	0 (-)	12 (1)
別科 昼間講座	360	248	282	239
別科 夜間講座	360	71	73	92
合計		352	389	365

※ () はクラス数

3. 各科活動状況

(1) 本科

- ①2023年度卒業生数 本科 7名 研究科 3名
- ②公開講座 8月26日、11月11日、2024年1月27日
- ③進路指導
 - ・1年個人面談 5月24、25日
 - ・2年個人面談 4月21日、9月4日

(2) 日本語科（専門課程）

①2023 年度卒業生数 10 名

②2023 年度の主な行事

歌舞伎鑑賞教室（6 月 23 日）、小石川後樂園散策（12 月 1 日）、国会議事堂見学
（2024 年 1 月 17 日）、春節パーティ（2024 年 2 月 9 日）

③進路指導

個人面接（7 月 28 日、11 月 24 日、2024 年 3 月 4 日）

(3) 別科（付帯教育）

①公開無料講座 年間 24 回

②朗読大会 10 月 7 日

4. 2024 年度計画と予算会議

開催日時	場 所	議 事 事 項
2024 年 2 月 2 日（金） 13 時 30 分～14 時 30 分	日中友好会館 地下 2 階 会議室	〔議事〕 ① 2023 年度活動及び取り組みについて ② 2024 年度予算及び今後の活動に関する 報告

(公4) 文化事業 : 文化事業部

《2023 年度の文化事業》

主催事業 : 2 件、共催・特別協力事業等 : 5 件、会館美術館での貸美術館催事 : 13 件。

1. 主催事業 (2023 年 4 月～2024 年 3 月)

(1) 日中平和友好条約締結 45 周年記念展 PART II

主催展「クーバあちゃんの魔法の花空間～庫淑蘭切り絵展～」

会期 : 2023 年 9 月 22 日(金)～11 月 5 日(日)

来館者数 : 5,595 人 (39 日間・1 日あたり 143 人)

本展は中国陝西省文化観光局との共催で、陝西省美術博物館が所蔵する庫淑蘭(クーシューラン)の切り絵作品 70 点を展示した。陝西省の伝統文化や民俗風習を伝えるとともに、独特の色彩感覚から創作される新しい切り絵芸術の魅力を伝えた。また、封建的な思想が色濃く残る時代を力強く生き抜いた作家の人生観や夢・希望が映し出された切り絵作品に多くの来館者が共感を覚えた。

会期中は、「変幻自在!マジック × 舞台劇」、「親子で楽しむ切り紙ワークショップ」、「二胡 × 尺八 × ピアノ ♪ 秋のコンサート」「ガラガラ お楽しみ抽選会」など多彩なイベントを企画・実施、当館美術館のリピーター及び新規来館者の獲得につなげた。

アンケート調査では、展覧会の印象として「良かった」と「まあまあ良かった」が 100% を占めた。

また、来館者からは以下の声が寄せられた(一部抜粋)。

- ・美しい幻想的な世界に圧倒された。中国切り絵の概念が覆った。
- ・たくさんの素晴らしい作品が見られて良かった。陝西省の文化、歴史についても知りたくなった。
- ・クーバあちゃんの技術、切り絵への溢れる愛、創造性、彼女の人生が詰まった素晴らしい作品の数々、親子で来ても楽しめる展覧会!久しぶりに胸がドキめいた。
- ・作品だけでなく、その詳細な解説まであったので理解が深まった。展示構成も良かった。
- ・無料とは思えないクオリティの高さがある展覧会だった。

(2) 日中平和友好条約締結 45 周年記念展 PartⅢ

主催展「土から生まれるいのちー彫刻家セツ・スズキと中国玉石作品展ー」

会期：2024 年 3 月 5 日(火)～3 月 24 日(日)

来館者数：1,072 人（18 日間・1 日あたり 60 人）

本展は、「土から生まれるいのち」という共通項のもと、彫刻家セツ・スズキによる日本の前衛アート作品と中国の玉石彫刻家 17 名による伝統的な石彫芸術作品の画期的なコラボレーション展示で、彫刻を通じた日中文化の比較や双方向交流の特色ある催事となった。

会期中は、美術館内はもとより、美術館外側壁面や地下 1 階につながるらせん階段でも大型アート作品の展示を試みた。ひときわ目を引くセツ・スズキ氏の作品「ラカン」の色使いと形が功を奏し、従来の主催展とは異なり、通りすがりの来館者の増加を促した。さらに、日本と中国の彫刻芸術に関する「技術交流会」を開催、彫刻家たちとの技術交流や一般来館者との人的交流の場を提供した。

アンケート調査では、展覧会の印象として「良かった」と「まあまあ良かった」が 97% を占めた。

また、来館者からは以下の声が寄せられた（一部抜粋）。

- ・ 普段彫刻を見る機会があまりないので新鮮だった。また、ラカンが並んでいるのは壮観。実物は迫力があり、生で拝見できてとても良かった。
- ・ ネットで案内を見て、実物を見ようと初めて来館した。コンセプトや自由な発想に感動した。特にラカンと自然の中での活動ビデオ（TAUE PROJECT）に圧倒された。
- ・ 異国の地に来たような気持ちになり、刺激を受けた。
- ・ 1 つとして同じ顔がない展示、また中国玉石作品の細工の繊細さに感動した。
- ・ 大きな規模の作品を見ることと、小さく精巧な工芸品を見ることで芸術の多様な可能性を感じることができた。

2. 共催・特別協力事業等：（2023 年 4 月～2024 年 3 月）

(1) 共催事業

①「第一回 日中友好交流都市青少年囲碁交歓大会」

日中平和友好条約締結 45 周年を記念して開催されたもので、日中の青少年が囲碁大会を通して交流し、相互理解を深め、未来志向の日中関係を育成していく目的で開催された。

主催：日中友好交流都市青少年囲碁交歓大会実行委員会（委員長 河村建夫）

共催：（公財）日中友好会館 他

会期：2023 年 8 月 11 日(木・祝)～13 日(日) 会場：渋谷区役所

②「第6回『国航杯』在日華僑華人子女中国語スピーチコンテスト」

在日華僑華人子女の中国語学習や中国文化に対する興味を深めるため、若い世代を中心とした日中友好の人材を育成するためのコンテスト。「日中友好会館特別賞」を設置している。

主催：中国国際航空公司日本支社、『人民日報海外版日本月刊』

共催：(公財) 日中友好会館

開催日：2023年11月12日(日) 会場：日中友好会館大ホール

(2) 特別協力・協力事業

①「日中平和友好条約締結45周年記念 若山牧水名歌八首日中共同書道展 併催 師村妙石 牧水のこころ展」

日中国交正常化50周年認定事業『若山牧水—近代日本の杜甫・李白』の出版を記念した展覧会で、同書掲載の全48作品を展示。会期中には2日間にわたりパネルディスカッションを開催した。

主催：「若山牧水—近代日本の杜甫・李白」出版記念委員会(代表 師村妙石)

特別協力：(公財) 日中友好会館

会期：2023年8月24日(木)～29日(火) 会場：日中友好会館美術館、大ホール

②日中平和友好条約45周年記念「日中交流の現場～心と心 技と技～」

日中平和友好条約締結45周年記念事業として日中交流をテーマにしたイベントで、講演の他、二胡と中国琵琶によるアンサンブル・コンサートを実施した。

主催：一般財団法人日本アジア共同体文化協力機構(JACCCO)

協力：(公財) 日中友好会館

開催日：2023年11月23日(木・祝) 会場：豊島区民センターホール

(3) 資料作成

①「日中文化交流の70年—佐藤純子 元諮問委員に聞く(聞き手 谷野作太郎 元駐中国大使)—」

佐藤純子(一財)日本中国文化交流協会理事、元「文化事業」諮問委員より、日中の様々な分野の人々との交流史について、谷野作太郎顧問よりインタビュー形式でお話をうかがい小冊子にまとめ、会館関係者を中心に配布した。

編集発行：(公財) 日中友好会館

発行日：2024年1月31日

3. 貸美術館催事実績（2023年4月～2024年3月）

	展覧会名	会期	主催
1	「原点・相約」2023 中日芸術家現代美術交流展	2023年4月14日～4月20日	上海梧桐美術館(東京芸術研究院)
2	千住博 秘蔵の作品展	2023年6月8日～6月15日	(株)幻冬舎
3	張鵬 ギリシャスケッチ展	2023年6月16日～6月19日	(一社)日本産官学交流協会
4	東京国際工筆重彩双年展	2023年6月23日～6月28日	(一社)国際工筆画会
5	世界の屋根【チベット】—鄧予立写真展	2023年7月13日～7月17日	外為ファイネスト株式会社
6	日中平和友好条約締結45周年記念 2023 日中国際青少年書画『つなぐ』芸術文化交流展	2023年7月21日～7月26日	NPO 法人日中国際芸術家協会
7	日中平和友好条約締結45周年記念 中 国書道名家 楊志恆先生作品展	2023年7月28日～7月31日	NPO 法人日中国際芸術家協会
8	日中平和友好条約締結45周年記念 2023 日中青少年書道交流展	2023年8月4日～8月8日	中国国際文化交流中心ほか
9	〈祝！日中平和友好条約締結45周年〉 行跡—汪家芳繪徐霞客遊記展	2023年8月31日～9月4日	上海八号橋文化産業投資有限公司、(株)四季彩社
10	とこしえの山河(川流不息、山壽無窮)— 中国水墨画五人展	2023年11月16日～11月20日	(一社)日本中国友好写真家協会
11	《日中平和友好条約》締結45周年記念 匠心無界—2023 現代玉石彫刻芸術名工 (日本東京) 交流展	2023年11月27日～11月30日	御雲文化発展(株)
12	雲舞東海—雲龍子東京書法展	2023年12月5日～12月8日	日本華人文聯
13	経典を再現、共に和平を築く—中国書画 芸術精品展	2023年12月19日～12月21日	中聯国興書画院、(株)黄山美術社

(公5) 植林・植樹事業 : 総合交流部

外務省の拠出(2016年3月)による「日中植林・植樹国際連帯事業」を実施。2023年度が実施4年目となる「中国における植林事業」及び「第三国での植林・植樹事業」では、2020年度～2022年度助成事業で終了した事業のうち、実績報告と精算書類の精査が完了し、成果が助成決定の内容に適合すると認められた事業につき、助成金を確定した。また、2023年度助成事業として、新たに9件の助成を決定した。会館が主体となり実施する事業では、植林事業3件(中国1件、モンゴル1件、トルコ1件)を開始したほか、植樹交流事業として、ベトナムとモンゴルへの派遣事業を実施した。

「日本国内での植樹と併せて行う日中両国の青少年等の交流事業」では、中国との間で招聘事業を5件実施し、第三国・地域からの招聘を2件実施した。

1. 中国における植林事業、及び第三国での植林・植樹事業

(1) 助成事業

日本のNGO等民間団体や日本の地方自治体が対象国内の団体と協力して実施する植林事業に対する助成事業。中国及び主に東南アジアを中心とする日中両国以外の国・地域(第三国)を対象とし、対象国内の砂漠化防止、水害防止、熱帯林再生、その他環境の保全・回復や防災等に資するような植林事業に助成する。助成対象には現地での植林活動への日本からの参加者の派遣を含む。

①令和2(2020)年度助成事業

・全事業の実績報告・精算書類の精査を終え、助成金の確定・支払いを完了した。新型コロナウイルス感染症の影響による事業計画の変更や事業の中止、実施期間の延長を余儀なくされた事業等もあり、最終的な実績は以下のとおりとなった。

交付決定時：交付決定件数 15件(中国12件、第三国3件)

交付決定額総額：1億2,075万5,000円

最終実績：実施件数 10件(中国7件、第三国3件)

助成金確定額総額：5,626万5,995円

・2022年3月に終了した以下の事業について、事後調査を行った。

事業名：カンボジア国コンポンチャム州の農山村域における環境修復を目指した植林事業

対象国：カンボジア

団体名：特定非営利活動法人 環境修復保全機構

事後調査期間：2023年4月5日～6日

②2021 年度助成事業

全事業の実績報告・精算書類の精査を終え、助成金の確定・支払いを完了した。前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響による事業計画の変更が多く見られたが、第三国を中心に水際対策が緩和され、技術者派遣、植林ボランティア派遣が実施できた事業もあった。一部中止となる事業もあり、最終的な実績は以下のとおりとなった。

交付決定時：交付決定件数 14 件（中国 7 件、第三国 7 件）

交付決定額総額：1 億 1,536 万 5,000 円

最終実績：実施件数 12 件（中国 6 件、第三国 6 件）

助成金確定額総額：8,879 万 9,438 円

③2022 年度助成事業

2022 年度助成事業として 2022 年 12 月に助成を決定した 12 件（中国 5 件、第三国 7 件・交付決定額総額 8,851 万 1,000 円）のうち、事業中止となった 1 件（中国 1 件）を除く、11 件（中国 4 件、第三国 7 件）について、実績報告書と精算書類を元に内容の精査を実施。精査を終え、成果が助成決定の内容に適合すると認められた事業について助成金を確定し、支払い手続きを行った。新型コロナウイルス感染症が収束し、技術者派遣や植林ボランティア派遣が本格的に実施できるようになり、植林活動及びそれに付帯する幅広い活動の実績報告がなされた。

④2023 年度助成事業

2023 年度助成事業は、2023 年 7 月 4 日から 9 月 4 日の間に公募を行った結果、計 10 件（中国 4 件、第三国 6 件）の応募があった。申請取り下げ 1 件を除き、審査委員会による審査を経て、計 9 件（中国 4 件、第三国 5 件）に対し、総額 7,587 万 1 千円の助成を決定した（事業実施期間は 2024 年 1 月から 12 月までの 1 年間）。また、2022 年度事業（第三国）の 2 年目の下刈・保育作業について、計 4 件に対し、総額 299 万 2 千円の助成を決定した。

助成団体及び助成金交付対象事業は以下のとおり。

【2023 年度日中植林・植樹国際連帯事業による助成事業】

	団体名	対象国	交付対象事業
1	認定特定非営利活動法人 緑の地球ネットワーク	中国	河北省張家口市蔚県における緑化協力事業 (2024 年)
2	一般社団法人 地球緑化クラブ	中国	第三期内モンゴル正藍旗ホンシャンダーク沙地 における持続的砂漠緑化事業

3	一般社団法人 国際善隣協会	中国	太原市日中友好生態林造林(3年次)
4	認定特定非営利活動法人 岡山市日中友好協会	中国	日中白沙鎮程子溝村生態防護林プロジェクト
5	特定非営利活動法人 アジアの誇り・プレアビヒア日本 協会	カンボジア	プレアビヒア州エコビレッジ地区植林を通じた 環境修復事業
6	特定非営利活動法人 空とぶ森	モンゴル	ホブド県における環境保全林造成事業
7	特定非営利活動法人 環境修復保全機構	カンボジア	カンボジア国トボンクムン州における 森林環境教育を目指した学校環境緑化の推進 (フェーズ 3)
8	特定非営利活動法人 環境修復保全機構	カンボジア	カンボジア国シェムリアップ州における 森林再生と ESD の推進
9	特定非営利活動法人 日本ベトナム平和友好連絡会議	ベトナム	ハザン省日越友好植林事業 (第二期)

【2022年度日中植林・植樹国際連帯事業による助成事業 第三国2年目の下刈・保育作業】

	団体名	対象国	交付対象事業
1	特定非営利活動法人 日本ベトナム平和友好連絡会議	ベトナム	ハザン省日越友好植林事業 (2年目 下刈・保育作業)
2	特定非営利活動法人 アジアの誇り・プレアビヒア日本 協会	カンボジア	プレアビヒア州エコビレッジ地区周辺環境修復 のための植林事業 (2年目 下刈・保育作業)
3	特定非営利活動法人 環境修復保全機構	カンボジア	カンボジア国コンポンチャム州の農山村域にお ける環境修復を目指した植林事業(フェーズ 3) (2年目 下刈・保育作業)
4	特定非営利活動法人 環境修復保全機構	カンボジア	カンボジア国トボンクムン州における森林環境 教育を目指した学校環境緑化の推進 (フェーズ 2) (2年目 下刈・保育作業)

(2) 会館が主体となり実施する事業

①中国における植林事業

・2021年12月に終了した以下の事業について、中国国家林業・草原局及び在中国日本国大使館の協力を得て、事後調査を行った。

事業名：黒龍江省大慶市日中嫩江砂地防風固砂植林植樹事業

事後調査期間：2023年8月14日～15日

・下記事業について、会館と中国側関係機関との間での覚書を締結、2024年3月～2025年3月を実施期間とし、事業を開始した。

事業名：山西省大同市 日中植樹・植林協力プロジェクト

植林場所：山西省大同市雲州区西坪鎮瓜園村

植林面積：80ヘクタール

中国側関係機関：中国国家林業・草原局国際協力交流センター

山西省林業・草原局

山西省桑干河ポプラ豊産林実験局

②第三国での植林・植樹事業

〈1〉モンゴルにおける下記事業について、会館とモンゴル側関係機関との間での覚書を締結、2023年8月から2026年8月までを実施期間とし、事業を開始した。また9月29日、事業開始に当たり、小川理事長、在モンゴル日本国大使館、モンゴル側関係機関をはじめとした関係者や、地元住民・小中学生も参加して起工式を開催した。本事業は、モンゴル国で推進されている「10億本の植樹」運動の一環として実施する。

事業名：モンゴル北部地域における森林再生のための植林事業

植林場所：オルホン県 バヤンウンドゥル村

植林面積：10ヘクタール

モンゴル側関係機関：オルホン県自然環境・観光局、オイスカモンゴル

〈2〉トルコにおける下記事業について、会館とトルコ側関係機関との間で覚書を締結。2023年10月から2025年12月までを実施期間とし、事業を開始した。

事業名：アンタルヤ県の植林再生支援

植林場所：アンタルヤ県 マナブガット郡

植林面積：66.4ヘクタール

トルコ側関係機関：トルコ森林総局

③植樹を伴う交流事業 2件 合計派遣人数 37名

〈1〉日越外交関係樹立 50周年記念 和歌山県高校生派遣事業

事前リエンテーション ／派遣期間	派遣 人数	団員構成	訪問先	担当機関
7月15日／ 7月26日 ～7月30日	24	和歌山県高校生・引率等	ダナン市及び クアンナム省 (ベトナム)	派遣協力：和歌山県 受入協力：ダナン市、 クアンナム省、在ダナン 日本国総領事館

※和歌山県知事一行のベトナム友好訪問に際し、日越外交関係樹立 50周年を記念して、和歌山県内の高校生をベトナムに派遣。

〈2〉日本青年友好植樹団 (モンゴル)

事前リエンテーション／ 派遣期間	派遣 人数	団員構成	訪問先	担当機関
9月20日／ 9月25日 ～9月30日	13	団長1名 団員(日本大学生)9名 事務局3名	ウランバートル市、 エルスタサルハイ、 ハラホリン (モンゴル)	受入協力： 在モンゴル 日本国大使館

※モンゴル国で推進されている「10億本の植樹」運動の一環として実施。

2. 日本国内での植樹と併せて行う日中両国の青少年等の交流事業 (日中両国以外の第三国及び地域の出身者の参加を含む)

2023年度は、440名(中国230名、第三国・地域210名)の招聘の実施を計画したが、結果、中国からの招聘事業5件170名と第三国・地域からの招聘事業2件57名の合計7件227名を実施した。2017年度より継続している中国大学生の地方間交流を実施した他、植林事業のカウンターパートである中国国家林業・草原局からも招聘し、協力関係の強化を図ることができた。また、芸術、恐竜、生態環境保全等、新たな分野の青少年を招聘し、広範囲な交流を実施した。

(1) 中国からの招聘事業 5件 合計招聘人数 170名

①2023年牧雲社日中芸術交流青年代表団

事前オリエンテーション ／招聘期間	招聘 人数	団員構成・地域・テーマ	訪問先	担当機関
7月19日／ 7月23日 ～7月29日	29	各種芸術分野の大学生・大学院 生・青年（北京市、雲南省、山東 省、黒龍江省） 『芸術を通じたSDGsの実現』	東京、神奈 川、香川	北京牧雲文化芸術基金 会（牧雲社） （派遣協力： 在中国日本国大使館）

②2023年日中恐竜交流青少年代表団

事前オリエンテーション ／招聘期間	招聘 人数	団員構成・地域・テーマ	訪問先	担当機関
8月16日／ 8月20日 ～8月26日	31	恐竜及び古生物学研究の分野、及 び日本との交流に関心のある小学 生（高学年）から大学生 『環境・防災』	東京、福井、 大阪	派遣協力：邢立達 デ ィープタイムデジタル アース恐竜タスクグル ープリーダー・博士、 在中国日本国大使館

③2023年日中緑化協力林業青年代表団

事前オリエンテーション ／招聘期間	招聘 人数	団員構成・地域・テーマ	訪問先	担当機関
10月26日／ 10月30日 ～11月3日	30	中国国家林業・草原局及び関係機 関に所属する青年（北京市・山西 省・遼寧省・黒龍江省・陝西省・ 寧夏回族自治区・内蒙古自治区） 『森林経営、林業地区の経済発 展』	東京、群馬	中国国家林業・草原局

④2023年度中国大学生友好交流訪日団

事前オリエンテーション ／招聘期間	招聘 人数	団員構成・地域・テーマ	訪問先	担当機関
11月22日／ 11月26日 ～12月2日	50	大学生・大学院生（遼寧省・四川 省） 『環境・防災』	東京、神奈 川、山梨	中国日本友好協会

⑤2023 年度中国生態環境保全・低炭素発展業務青年代表団

事前刈エンテーション ／招聘期間	招聘 人数	団員構成・地域・テーマ	訪問先	担当機関
2024 年 1 月 16 日／ 1 月 28 日 ～2 月 3 日	30	中国生態環境部、日中友好環境保 全センターに所属する若手職員 『日本の環境保全政策と脱炭素先 行取組』	東京、神奈 川、岩手、宮 城	日中友好環境保全セン ター（派遣協力：在中 国日本国大使館）

(2) 第三国・地域からの招聘事業 2 件 合計招聘人数 57 名

①日越外交関係樹立 50 周年記念 ベトナム・クアンナム省高校生招聘事業

※(株) JTB に委託

招聘期間	招聘 人数	団員構成・地域	訪問先	担当機関
7 月 26 日 ～7 月 30 日	25	クアンナム省の高校生・引率等	和歌山	派遣協力：クアンナム 省 受入協力：和歌山県、 和歌山県紀の川市

※和歌山県高校生のベトナム派遣事業と同じ期間に実施。

②モンゴル青年環境視察交流訪日招聘 ※(株) JTB に委託

招聘期間	招聘 人数	団員構成・地域	訪問先	担当機関
2024 年 3 月 23 日 ～3 月 30 日	32	モンゴルの高校生・大学生等	東京、茨城、 群馬	在モンゴル日本国大使 館

※モンゴル国で推進されている「10 億本の植樹」運動の一環として実施。

〔Ⅱ〕収益事業

オフィスビル賃貸事業及びホテル運営業務：資産管理部

1. オフィスビル賃貸事業（後楽国際ビルディング）

2023年度の賃貸料収益は約706百万円であり、対前年度比で約135百万円の増収となった。

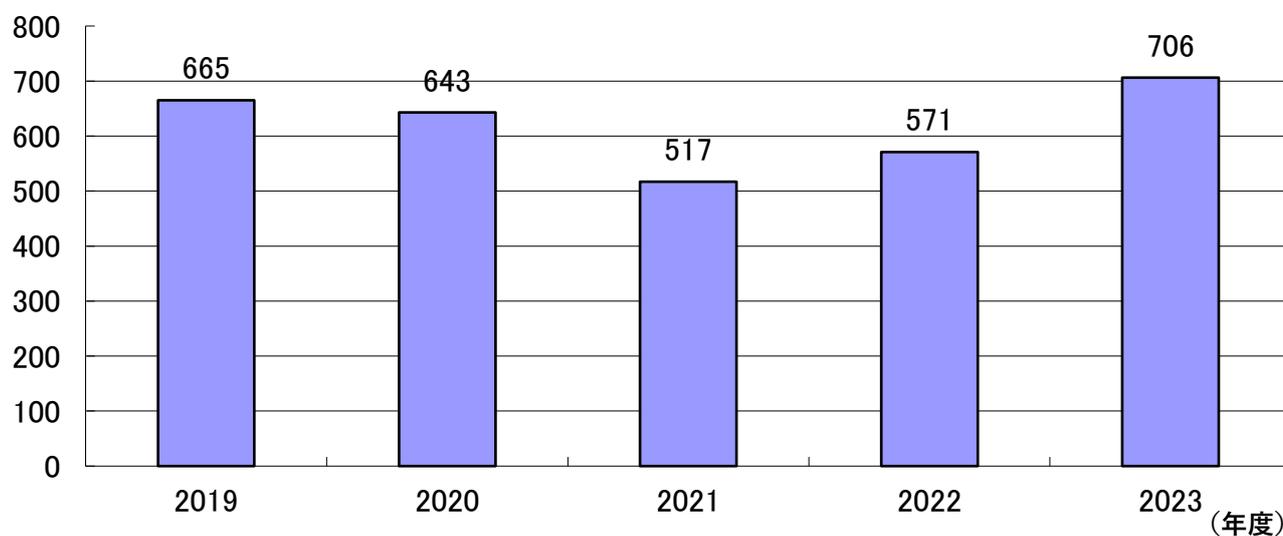
年度当初よりオフィスフロアは一部倉庫を除き満室稼働であり、店舗もすべて満室となったため増収となった。但し、オフィスフロア1テナントと店舗1テナントが2024年度に退去予定であり、埋め戻しに時間がかかった場合、2024年度は減収の可能性がある。

そのうち、直貸しテナントの「中国料理 楓林」については3月末での閉店が決まり、惜しまれながらも営業を終了した。後継テナントについては募集中である。

年度末時点のテナントの入居状況は「添付資料①テナント入退去状況一覧表（2024年3月31日現在）」参照。

（単位：百万円）

賃 貸 料 収 益（年度別推移）



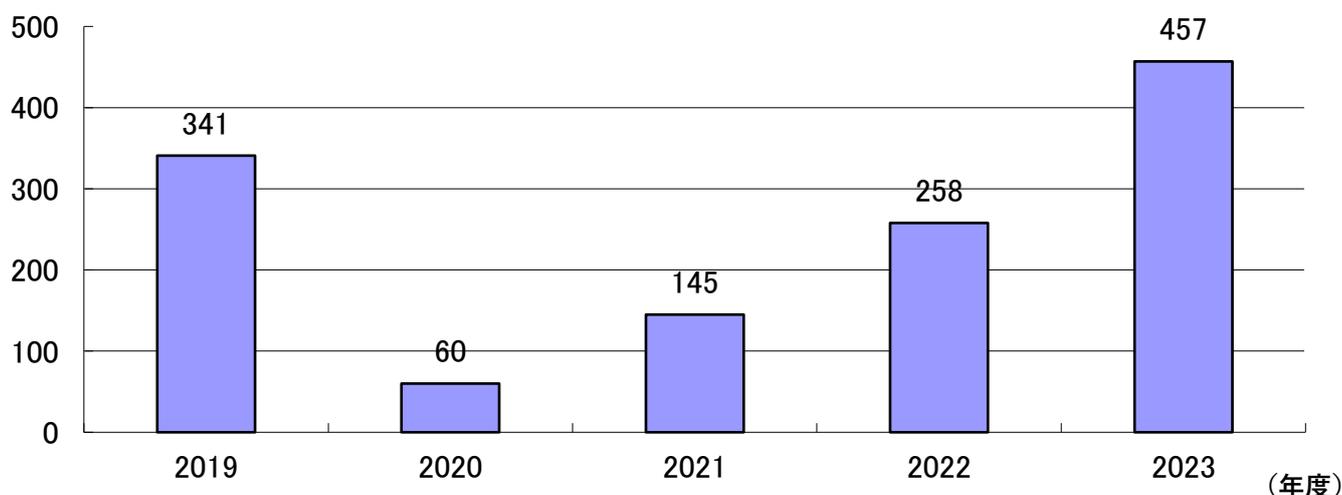
※賃貸料収益には、テナント賃料の他、駐車場・駐輪所使用料、大ホール・会議室使用料等の収入が含まれている。

2. ホテル運営業務（後楽ガーデンホテル）

2023年度は、12月に研修棟2Fの18室をホテル化したこともあり、売上は457百万円、稼働率87.5%、平均単価は9,482円であり、全国旅行支援が始まった昨年同時期よりすべてにおいて上回っただけでなく、199百万円の増収となり、過去最高の売上・平均単価を記録した。エリア全体としても、円安が追い風となってインバウンドが増加し、稼働率・平均単価がさらに上昇してきており、当面はこの増収傾向が続くものと思われる。

（単位：百万円）

ホテル室料収益（年度別推移）



※ホテル室料収益には、ホテル客室（167室）の売上に加え、3階研修棟（20室）の売上も加算されている。

3. 設備投資計画

設備改修・修繕工事等は設備投資計画書に基づいて実施している。しかし、2021年度、2022年度と可能な限り工事計画を抑制したため、設備の劣化が進み、故障が頻発しており、その修理にも対応した結果、総額で248百万円の工事を実施した。

2023年度実績は、添付資料②「2023年度 資金調達及び設備投資計画書 執行状況（実績）」参照。

期間中に実施した主な工事は下記の通り。（番号は添付資料②の表中の番号）

「設備投資計画書の工事区分 工事項目／実施時期 工事金額（税抜）」

1. 後楽ガーデンホテル

1-⑥ 電灯盤更新工事／5月 20,000千円

1-⑦ その他建築・機械・電気設備改修工事

（内、建築設備定期検査是正工事（ホテル））／3月 1,938千円

2. 後楽国際ビルディング

- 2-③ ファンコイル三方弁交換工事／4月～9月 11,660千円
- 2-④ 7階トイレ排水管修理工事／5月 2,320千円
- 2-⑤ その他建築・機械・電気設備改修工事
(内、シャッター改修工事(正面側))／12月 8,610千円
(内、建築設備定期検査是正工事(オフィス))／3月 3,362千円

3. 会館施設

- 3-①-2 テレワーク対応／11月～12月 5,244千円
- 3-①-4 中長期修繕計画／4月～6月 3,800千円

4. 会館収益施設

- 4-③-2 旧豫園内装改修工事他／7月～3月 11,830千円

5. 後楽寮及び研修棟

- 5-③ その他建築・機械・電気設備改修工事
(内、1～3階東側給湯室・小便器用衛生配管更新工事)／2月 7,400千円

6. 本館共通

- 6-① 消防設備改修／9月 3,580千円
- 6-② 外壁改修工事／3月 105,138千円
- 6-④ その他建築・機械・電気設備改修工事
(内、地下3階ボイラー系統膨張タンク更新)／9月 1,900千円
(内、地下2階会議室・ホテル棟1階休憩室三方弁交換工事)／1月 3,500千円
(内、地下1階倉庫排風機修繕工事)／12月 2,200千円

7. 別館共通

- 7-② 受水槽他給水設備更新工事／9月 24,400千円

8. 敷地内外構共通

- 8-① その他改修工事
(内、敷地外周部プランター更新工事)／10月 1,439千円

〔Ⅲ〕 その他の事業

1. 会員相互友好事業 : 日中友好後楽会

賛助会員組織「日中友好後楽会」は、会館の施設を活用し中国人留学生と直接交流を行うことで相互理解を深め日中双方の親睦の促進を目的として1989年7月発足(当初の会員は90名)。

① 会員数

2024年3月末現在の会員数は44名、法人会員1社。個人会員は前年度末から1名減少、法人会員は同数であった。会員特典やイベントを充実させて、会員数を増やしていく予定。

② 談話会・会員集会

月例の行事として、談話会・会員集会を原則として月1回開催。4月、8月、12月は、新年度、お盆休み、年末多忙などの理由で休会としている。通例として、談話会は後楽寮生を講師として招き専門分野における研究成果の一端を披露してもらっていたが、2023年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止していた。

今後は体験型イベントへの変更を検討中。

③ 友好バスハイク

年2回、会員と後楽寮生が都内あるいは近郊へ友好ハイキングに出かけていたが、2020年度から2023年度まで新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

これまでは主に貸切バスを利用し、朝から夕刻まで長時間会員と寮生が行動を共にするため、実りの多い交流・交歓の機会になっていた。2024年度は実施を予定している。

④ 中国旅行

年に一度の会員を対象に中国旅行を実施していたが、2020年度から2023年度まで新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。2024年度は11月に実施を予定。

⑤ 会員向け文化講座

現在、月2回(第1、第3木曜日)実施している気功教室と中国画教室は、いずれも専門家の指導の下、長年続いている。

⑥ 観桜会

会館行事として、毎年桜のシーズンに観桜会を催し、中国大使館をはじめ、会館理事・評議員、後楽会会員、後楽寮生を招待していたが、2020年度から2023年度の観桜会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。2024年度は実施を予定している。

	<p>第5号議案：海外出張旅費規程の改定</p> <p>第6号議案：総務・財務部長の解嘱および任命</p> <p>第7号議案：日中植林・植樹国際連帯事業 助成実施規程の改定</p> <p>第8号議案：日中植林・植樹国際連帯事業 審査委員の選任</p> <p>第9号議案：後楽ガーデンホテル研修棟の2階を一般客室に変更 する件</p> <p>第10号議案：後楽寮規則及び後楽寮研修棟短期入寮規則の改定</p> <p>報告事項</p> <p>(1) 代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況の報告 (2023年6月～2023年8月)</p> <p>(2) 「日中植林・植樹国際連帯事業」諮問委員会の助言の報告</p>
<p>第50回理事会</p> <p>2023年12月8日(金)</p> <p>日中友好会館大ホール</p>	<p>議題</p> <p>第1号議案：日中学院新学院長の承認</p> <p>第2号議案：「日中植林・植樹国際連帯事業」2023年度助成対象事業採択及び助成金額内定の件</p> <p>第3号議案：「文化事業」諮問委員の選任</p> <p>報告事項</p> <p>(1) 代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況の報告 (2023年9月～2023年11月)</p> <p>(2) 「文化事業」諮問委員会の助言の報告</p>
<p>第51回理事会</p> <p>2024年3月7日(木)</p> <p>日中友好会館大ホール</p>	<p>議題</p> <p>第1号議案：2024年度事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資計画書の承認</p> <p>第2号議案：理事の職務権限規程の改定について</p> <p>第3号議案：臨時評議員会の招集の議決</p> <p>報告事項</p> <p>(1) 代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況 (2023年12月～2024年2月)</p> <p>(2) 「日光山荘」無償譲渡契約締結の報告</p>

3. 広報 : 広報チーム

組織横断型の広報チームが各部の意見を取りまとめ、より有意義な広報を目指して活動。会館ホームページは引き続き安定して運営している。タイムリーな情報配信を心掛け、日中友好会館美術館での催事案内、総合交流部で実施した青少年交流事業の報告、植林・植樹事業の助成事業の決定、後楽寮生の活動報告、役員の対外活動の記事等を掲載した。さらに、日中平和友好条約締結 45 周年を記念し実施した当会館設立 40 周年記念式典の開催報告と動画の公開を行った。

情報の見やすさ、使いやすさ充実のためのホームページリニューアルについて、2024 年 7 月切り替えを目指して作業を進めている。

また、ホームページ・メールマガジンで掲載した「日中国交正常化 50 周年記念コラム」を冊子にまとめ、『日中国交正常化 50 周年に寄せて一日中友好会館記念コラム集一』として 2023 年 10 月に発行、執筆者をはじめとする会館内外の関係者に配布した。

メールマガジンは、ホームページ掲載記事を主な内容として毎月初旬に配信した。送付先拡大のため、各部の関係先を見直し追加した。

例年通り活動の総括として、「日中友好会館年報」を 2023 年 7 月に発行し、関係先に配布した。

4. 日中友好会館代表団の派遣

中国日本友好協会との友好交流代表団相互訪問の一環として、小川理事長を団長とする日中友好会館代表団一行 6 名が、7 月 2 日から 7 月 8 日まで北京、広州、香港を訪問した。一行は北京で中国人民対外友好協会の林松添会長と懇談したほか、外交部では劉勁松アジア司長や、教育部の賈鵬国際合作・交流司副司長等を表敬し、意見交換した。また、在中国日本国大使館で垂大使を表敬したほか、広州総領事館の亀井総領事、香港の岡田総領事を表敬し、3 年振りに再開するリアルな交流に向けて、打合せを行った。

5. テレワークの実施

12 月 1 日付でテレワーク勤務規程を施行。より柔軟な働き方を選択できるよう、役職員にテレワーク用 PC を配布し、2024 年 1 月から各人週一回のテレワーク勤務をスタートした。

6. 人事制度の改善に向けた検討

2024 年度中に現行の人事制度（評価制度、役職・等級制度等）を改定し、職員のやりがいや成長、働きやすさを推進するべく、10 月から検討チームを立ち上げ、外部人事専門家（(一社) 100 年ライフデザイン・ラボ）の協力を得て検討を開始した。

7. 人事異動（副部長以上）

蘇涛	文化事業部長	任命（2023年7月28日）
近藤香織	総合交流部部長	解嘱（2023年9月1日）
	総務・財務部部長	任命（2023年9月1日）
芳賀義也	総務・財務部長	解嘱（2023年10月1日）
島田和彦	総務・財務部長	昇格（2023年10月1日）
堀口努	総務・財務部副部長	解嘱（2023年10月1日）
	文化事業部副部長	任命（2023年10月1日）
田辺奈津子	留学生事業部副部長	解嘱（2023年12月31日）
小松健次	日中学院長	退任（2024年1月31日）
斎藤法雄	日中学院長	就任（2024年2月1日）

8. 在籍者（2024年3月31日現在）

	役員		職員				嘱託		臨時職員		派遣職員		計	
			管理職		非管理職									
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
役員・事務局長・ 事務局次長	3		1				1						5	
	3			1			1						4	1
総合交流部			2		11		1				3		17	
				2		11	1				3		1	16
留学生事業部			1		3		1						5	
			1		1	2	1						3	2
日中学院			1		4				3				8	
			1		2	2				3			3	5
文化事業部			1		3		1						5	
			1		1	2	1						3	2
資産管理部					2		2						4	
					1	1	1	1					2	2
総務財務部			2		4						4		10	
			1	1	1	3					4		2	8
その他													0	
													0	0
計	3		8		27		6		3		7		54	
	3	0	4	4	6	21	5	1	0	3	0	7	18	36

※嘱託 管理職 6名 / 除く日中学院教員